



国会議事堂を取り囲み、手をつないで脱原発を訴える参加者。11月2日午後5時48分、東京・永田町、小川智撮影

# 脱原発 国会を囲む

## 参院選前に大規模抗議行動

なし崩し的に再稼働を進めていいのか。東日本大震災後から脱原発を訴えてきた団体などが2日、7月の参院選を前に、東京都内で大規模な抗議行動をした。一時はどの盛り上がりはない。それでも、「自分の思いを誰かに伝えたい」と、多くの人が集まった。



## 街頭へ

デモや集会を呼びかけたのは、毎週金曜夜に首相官邸や国会前でデモを続ける「首都圏反原発連合」や「原発をなくす全国連絡会」など三つの市民団体。昼過ぎから都内2カ所で集会があった。

港区の芝公園であった集会では、作家の大江健三郎さんや落合恵子さんが演

説。落合さんは「昨年の総選挙で棄権した人を参院選に呼び戻すことが大事」と語り、「それができれば流れは変わる。できることすべてをやる」と訴えた。

## 「長く続けば変わる」

千葉県市川市の無職小田喜代八さん(68)はデモが盛り上がった昨夏から毎週金曜に参加を続け、勢いがしばらくでいくのを肌で感じてきた。だが、「誰もいなくなる」と原発を認めることになる。1人でも抗議を続け

その後、それぞれの参加者がデモ行進。夕方には、約1・2キロにわたる人の列で国会議事堂を取り囲み、プラカードやのぼりを手に「原発いらぬい」などと沿道にアピールした。主催側によると、参加した延べ人数は計約8万5千人。警視庁は参加者数を発表していないが、警察関係者によると延べ2万数千人という。

ることが大事だ」。

東京都目黒区の派遣会社員の女性(33)は世の中が「再稼働やむなし」に傾きつつあると感じ、昨年5月から参加をやめた人もいるが、悲観はしていない。「すぐ

に原発がなくなれば苦労しない。電気の無駄遣いを見直すとか、色んな活動を長く続ければ、少しずつ世の中が変わる気がする」

4歳児の母で、横浜市の医療事務員、朝見幸子さん(38)は先週から参加し始めたばかりだ。昨年の参院選では脱原発を訴える候補に投票したが、候補は落選。政治への壁の高さを痛感した。「最後のかし取りは政治家がする。やっぱり選挙は大事。参院選で投票してもらうためにも、この場でアピールしたい」と話した。東京都大田区の男性(33)は妻と2人の子どもを連れ、初めて参加。「未来の子どもたちのために、今の世代が責任を取るう」という言葉にはうなずいた。安倍内閣の経済政策には賛成だが、原発の再稼働まで賛成したつもりはない。「世論調査でも多くの人が脱原発を望んでいる。政治は民意を十分にくみとってほしい」(木原貴之、成沢解語、八木拓郎)